

Ⅱ 賑わう「都」をつくる

～奈良が有する自然・歴史・文化資源を活用し、
観光産業を振興する～

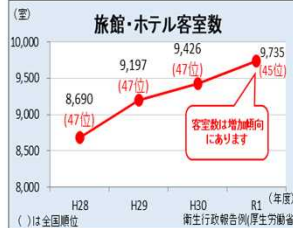
Ⅱ 賑わう「都」をつくる 3 滞在型観光の定着

(9) ホテル誘致

ここまで良くなってきました

近年増加傾向にあるホテル立地を更に加速させるため、令和3年度に**奈良県宿泊施設立地促進補助金を創設**しました。

滞在型観光をより一層促進するため、R7年度までに宿泊客室数を12,000室にする目標を設定し、目標達成に向け、県内にホテル・旅館を新築される事業者を対象として、R3年度に補助金を創設しました。



近年の県の誘致例



もっと良くするために

観光地競争に打ち勝つには、**ホテル客室数**をもっと増やすこと、**ホテルのバリエーション**を持つこと、**上質なホテル**も用意することが必要です。

＜ホテル誘致の視点＞
 ○滞在型観光を促進するため客室数を増加
 ○多様なニーズに応えるバリエーション
 ○観光地奈良のブランド力を上げる上質ホテル
 ○2025年の大阪・関西万博の開催を好機と捉えた誘致活動

これらの視点に沿って県内の**観光地**への**ホテル誘致**を進めます。

- 宿泊施設の新たな立地に対し補助 [債務負担行為500百万円]
- 既存宿泊事業者等の宿泊施設の増改築等に対し補助(22百万円)
- 奈良公園観光地域活性化特区内の宿泊施設の新設等に対し補助(28百万円)
- JETRO奈良事務所と連携したホテル事業者関係者の招聘及び誘致状況調査(1百万円)
- 吉城園周辺の土堀・遊歩道整備等(275百万円)
- 旧奈良監獄の整備に対し補助等(33百万円)

令和4年度予算案 359百万円
[債務負担行為500百万円]



R4.3 OPEN(予定) フェアフィールド・バイ・マリriott (なら歴史芸術文化村内)

R4予算案 359,263千円 [債務負担行為 500,000千円]

①ホテル誘致の推進 (50,953千円 R5～9債務負担行為500,000千円)

(1) 宿泊施設立地促進補助 (R5～9債務負担行為500,000千円)

- 上質なホテルを誘致し、滞在型観光をより一層推進
 - ・ 補助要件: ①客室数30室以上または収容人員100人以上
②投資額5億円以上(南部地域・東部地域は3億円以上)
 - ・ 補助率: **投資額の5%**
 - ・ 補助上限: **2億円**(客室数100室以上、かつ、客室平均面積20㎡以上の場合)
1億円(客室数30室以上、または収容人員100人以上の場合)

(2) 宿泊施設の**事業転換や増改築等への支援** (22,280千円)

- 「奈良の宿泊施設育成支援資金」(制度融資)を利用した宿泊施設事業者に対し利子補給補助

(3) 国の「総合特区支援利子補給金制度」への**上乗せ支援** (27,773千円)

- 奈良公園観光地域活性化総合特区内における宿泊施設の新設等に対し利子補給補助

(4) **ホテル誘致の推進** (900千円)

- ジェトロ奈良事務所と連携し、国内外のホテル事業者の招聘や他府県における誘致状況を調査

②吉城園周辺地区 (275,000千円)

民間事業者 宿泊施設等の整備
県 土堀修景整備、吉城園主棟等の耐震改修、遊歩道整備等



＜問い合わせ先＞

- ①③(うちホテル整備に対する支援に関すること) 産業・観光・雇用振興部 企業立地推進課 吉田課長補佐(内線3585)
- ②③ 地域デザイン推進局 奈良公園室 丸山室長補佐(内線4334)

③旧奈良監獄 (33,310千円)

- アクセス道路を整備する奈良市への支援
- SPCによる**耐震改修**事業への支援
- 奈良市と連携しゲートウェイとなる**沿道整備**
- **ホテル整備**に対する支援 (R5予算計上予定)
 - ・ 国の「総合特区支援利子補給金制度」に**上乗せして利子補給**を実施



旧奈良監獄ホテルのイメージ (法務省より提供)

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 3 滞在型観光の定着 (10) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興

ここまで良くなってきました

令和2年4月にコンベンションセンターがオープンし、大規模会議を誘致できるようになりました。新型コロナウイルス感染症の影響により国際会議の開催は限定的ですが、国内の開催可能な規模の催しや海外への誘致活動を継続的に行いました。

感染症対策を徹底しながら、天平広場を活かした各種の集客イベントを開催しました。

〇多目的広場を活用して、土日を中心に賑わいの拠点となるイベントを開催しました。

〇コンベンション施設、観光振興施設、ホテル等が一体となった観光拠点としての利点を生かし、各種会議が開催されました。

〇国内の会議を誘致するほか、海外の要人に対するPR活動など、海外に対しても誘致活動を展開しました。



医学学会開催の様子



天平広場を活用したイベント

もっと良くするために

ポストコロナを見据え、大規模国際会議などの開催誘致を推進します。

〇「第7回UNWTO(国連世界観光機関)ガストロノミー・ツーリズム世界フォーラム」を開催(203百万円)



第7回UNWTOガストロノミー・ツーリズム世界フォーラム(ベルギー・ブルージュ)

〇2023年G7関係閣僚会合の開催を目指した誘致活動の他、各種国際会議、大規模会議の開催を誘致するため、県、ビジターズビューロー等による誘致活動を展開(20百万円)

〇(新)コンベンション施設としての利便性の向上(9百万円)
・需要の増加しているハイブリッド会議に対応するため、Wi-Fi環境を強化

周辺観光の拠点となる賑わいを創出します。

〇煌びやかなイルミネーションや季節感を演出した各種イベントや、飲食を含めたイベントの開催など新たな賑わいを創出(193百万円)



天平広場でのスケートリンク(イメージ)

MICE誘致を活用して県内各地への訪問客を増加させます。

・交流拠点全体のタウンマネジメント協議会を定期的に開催
・奈良らしさを感じられるユニークベニュー(寺社等での会議・レセプション開催)を開催

令和4年度予算案 425百万円

R4予算案 425,404千円

1. コンベンション施設の運営(SPC) (132,727千円)

①施設の運営に加え、国際会議や医学学会等MICEの誘致推進や、賑わいの創出など

2. 賑わいの創出、MICEの誘致推進(県) (291,697千円)

(1) 賑わい創出と利便性の向上 (68,800千円)

- ②天平広場における奈良の食材を使った飲食の提供
- ③NHK奈良放送局、JWマリオット・ホテル奈良などと連携したイベントの開催
- ④(新)Wi-Fi環境の強化、煌びやかなイルミネーションなど季節に応じた空間の演出
- ⑤(新)夏・冬休みにスケートリンクを設置



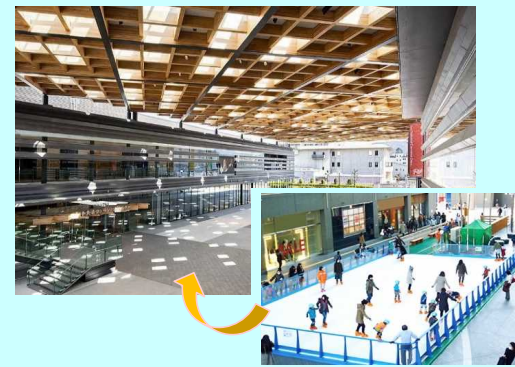
コンベンションホール

(2) MICE“誘致力”の向上 (3,873千円)

- ⑥ビジターズビューローと連携した学会の誘致
- ⑦奈良を代表する施設、企業等と連携したユニークベニューの開発
- ⑧県内MICE事業者に向けたセミナー、意見交換会の開催

(3) 大規模MICEの誘致推進 (5,467千円)

- ⑨国内外のMICE商談会、見本市への出展によるPR
- ⑩「2023年G7関係閣僚会合」などの大規模国際会議の誘致



スケートリンク(イメージ)

(4) コンベンション開催誘致の強化 (11,027千円)

- ⑪大規模コンベンションの開催助成
上限150万円(国際会議:登録人数 500名~ →50万円、750名~ →100万円、1,000名~ →150万円)
上限75万円(国内会議:登録人数 (新)ハイブリッド会議 250名~ →15万円、500名~ →25万円、750名~ →50万円、1,000名~ →75万円)
- ⑫国内コンベンション(中・小規模)の開催助成 上限10万円(登録人数 200~499名)
- ⑬アフターコンベンションの開催助成
上限20万円(アトラクション、エクスカーショ及び体験プログラム、
(新)ハイブリッド会議)

(5) ガストロノミー・ツーリズムの推進(世界フォーラムの開催) (203,510千円)

- ⑭コンベンションセンターを主会場としてUNWTO世界フォーラムを開催
- ⑮世界フォーラムを契機とし、ガストロノミー・ツーリズムを県内外に浸透させる取組を実施



奈良県コンベンションセンター外観

<問い合わせ先>

- ①~⑨、⑪~⑮ 観光局 MICE推進室 大久保室長補佐(内線2153)、田中室長補佐(内線2595)
- ⑩ 知事公室 国際課 伊豆藏課長補佐(内線2151)、観光局 MICE推進室 大久保室長補佐(内線2153)

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 4 魅力ある観光地づくり (11) 奈良県観光総合戦略の実行

ここまで良くなりました

リニア中央新幹線の「奈良市附近駅」の設置をはじめとする、長期的な社会背景の変化の中で目指すべき姿を定めた上で、新型コロナウイルス感染症のような短期的な課題事象にも適時に対応できる、**実効性ある具体的施策**として、「奈良県観光総合戦略」を令和3年7月に策定しました。

〇おもてなしの心をもって「観光資源を磨きあげて(＝内を固めて)、その魅力を広めていく(＝外に出る)」ことを基本スタイルに、「世界中に名を馳せる観光地・奈良」の実現に向け施策を展開



<目指す姿>
総合：観光振興の土台づくり
「ここにしかない魅力であふれる観光地・奈良」
「いつ来ても快適な観光地・奈良」
「選ばれる観光地・奈良」

もっと良くするために

奈良県観光総合戦略(～2025年度)を着実に推進します。

〇戦略に基づき、事業者、県、市町村等の各観光振興実施主体の積極的かつ主体的な取組や、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の観光、持続可能な観光の観点を重視した取組を推進します。

県内各地域で、**観光振興の土台づくりを進めます。**

- 〇市町村、観光協会、DMO、観光関連事業者等との地域の対話の場づくり・UNWTOの専門的知見を活用した持続可能な観光地づくりの調査研究(12百万円)
- 〇(新)地域の核となる人材の育成、地域観光の課題解決に向けたシンポジウム等の開催(12百万円)

快適な滞在環境整備を推進し、周遊拠点として泊まりたい奈良を目指します。

- 〇宿泊等割引キャンペーン(いまなら。キャンペーン)を実施し、県内宿泊・観光を促進(1,270百万円)
- 〇タクシー利用型観光地づくりの推進に向けた、タクシー事業者や市町村観光協会との連携(4百万円)

奈良の**自然・歴史・文化資源や食の魅力**を守り、創り、磨き上げます。

- 〇(新)市町村等による「観光資源を磨きあげ(＝内を固める)」事業に対し補助(30百万円)
- 〇第7回ガストロノミーツーリズム世界フォーラムを開催し、レガシーを創出(203百万円)
- 〇「飛鳥・藤原」世界遺産登録に関連する歴史的催事やガストロノミーツーリズムを契機とした誘客プロモーションの展開(183百万円)
- 〇鉄道事業者と連携した奥大和の魅力発信(20百万円)

令和4年度予算案 1,734百万円

R4予算案 1,734,450千円

奈良県観光総合戦略(～2025年度)の実現推進

施策の柱	総合	「ここにしかない魅力であふれる観光地・奈良」		「いつ来ても快適な観光地・奈良」			「選ばれる観光地・奈良」
	(1) 観光振興の土台づくり (Administration)	(2) 自然・歴史・文化資源の活用 (Attraction)	(3) 楽しむ (Amusement)	(4) 食の魅力 (Appetite)	(5) 宿泊施設の質と量 (Accommodation)	(6) 滞在環境の快適性 (Amenity)	(7) 便利な交通・道路体系 (Access)

① 観光振興の土台づくり (23,940千円)

(1) 市町村、事業者等との対話による観光総合戦略の実現推進

- ・市町村、観光協会、DMO、観光関連事業者、住民等が参画する**地域の対話の場づくり**
- ・地域の課題に応じた取組への専門家派遣



(2) 観光産業人材の育成強化

- ・**新**地域の核となる人材育成支援のための学びの場づくり、**交流の場(プラットフォーム)づくり**
- ・**新**地域観光の課題解決に向けたシンポジウム、技術的・専門的な研修会の開催

③ 快適な滞在環境整備の推進 (1,274,500千円)

(1) **いまなら。キャンペーン(県内宿泊等促進キャンペーン)**

- ・「春のいまなら。キャンペーン2022」を含め、感染状況を勘案しながら、年度を通じたキャンペーンを展開
- ・平日宿泊を優遇し、宿泊需要を平準化
- ・ワクチン接種済証や陰性証明等の活用



(2) 二次交通を活用した周遊型観光の促進

- ・タクシー事業者や市町村観光協会と連携し、タクシー利用型に適した観光地づくりを推進

② 自然・歴史・文化資源や食の魅力の創出と磨き上げ (233,510千円)

(1) **新**奈良県観光総合戦略推進補助金を創設し、観光総合戦略に基づく**魅力の磨き上げに資する取組**を支援(30,000千円)

- ・歴史文化資源等を活かした観光商品の開発
- ・宿泊施設・観光スポットのバリアフリー化
- ・地域素材、食材を活用した土産物、メニューの開発
- ・ワーケーションの環境整備 ・観光産業人材の育成
- ・多言語化観光案内標識整備 など

(2) ガストロノミーツーリズムの推進

- ・**コンベンションセンターを主会場としてUNWTO世界フォーラムを開催**
- ・世界フォーラムを契機とし、ガストロノミーツーリズムを県内外に浸透させる取組を実施

④ 奈良の多様な魅力の発信 (202,500千円)

(1) 首都圏や県内を中心に積極的な広報・宣伝を展開

- ・「壬申の乱1350年」や、**ガストロノミーツーリズム**を核に**交通事業者と連携し、首都圏や県内に向け積極的な広報活動**
- ・鉄道事業者と連携して、奥大和地域の魅力を発信する宿泊旅行商品を造成・PR

<問い合わせ先>

- ①～③ 観光局 ならの観光力向上課 浅業主幹(内線2608)、片山課長補佐(内線2588) MICE推進室 田中室長補佐(内線2595)
- ④ 観光局 観光プロモーション課 辻課長補佐(内線2581) 知事公室 奥大和・移住交流推進室 桐山室長補佐(0744-48-3016)

II 賑わう「都」をつくる 4 魅力ある観光地づくり

(12) 奈良公園中枢地プロジェクト(文化ゾーンの魅力向上と公園内の環境整備)

ここまで良くなってきました

奈良公園中枢地における文化ゾーンの魅力向上と公園内の環境整備のためのプロジェクトを立ち上げ、有識者(文化振興戦略懇話会)の意見を参考に、**部局横断的な検討を開始しました。**

- | | |
|--|---|
| 文化的魅力の強化
○差別館の新たな活用
○奈良県文化会館、県立美術館の整備
○伝統文化の振興 | 文化を活かした観光振興
○ガイド、コンシェルジュ育成
○より多くの誘客につながる案内 |
|--|---|



エリアの魅力向上に資する環境整備

- | | |
|---|---|
| 奈良公園周辺地区のホテル整備
・R2年5月に檜山園地が開園
・R2年6月にふふ奈良がオープン
(旧山口氏邸跡(宮内庁)) | ぐるっとバスの運行
・大宮通り、奈良公園、若草山麓ルートの3路線で運行
・R3年4月から大和西大寺駅南口に乗入れ |
| 奈良公園バスターミナルの運営改善
・R1年4月に奈良公園バスターミナルがオープン
・県営奈良めぐり平城宮跡前駐車場(宮跡南側)を駐機場として有効活用 | 奈良公園をゆっくり楽しんでいたがらう「ウィズコロナ」でイベント展開
・ならまち遊歩、きたまちといる |



もっと良くするために

ストーリーを紡ぎ、新たな魅力を生み出し、アメニティを改善することで、**奈良公園のワクワク感を高めます。**

- | | |
|--|---|
| 文化的魅力の強化
奈良公園内における 文化の展示力向上関係事業 をパッケージ展開し、 文化の集積感やワクワク感を向上させます。
○奈良公園内における文化の展示力向上(18百万円)
・文化的な利活用のために差別館のあり方を検討
・来訪者が奈良公園の文化をより体感してもらいかけとして案内を充実
・講堂棟壁面に県立美術館収蔵品等を掲示
・文化振興戦略懇話会を継続実施 | 文化を活かした観光振興
文化を活かした 観光案内 を行います。
○猿沢インや観光インフォメーションセンター等でのストーリーのある観光案内の実施
○地域通訳案内士やボランティアガイド等十分な知識をもち、観光客の興味をひき、伝えたいことがガイドの育成・活用 |
| 奈良県文化会館の整備を行います。
○文化会館整備工事実施設計を実施(150百万円) | 奈良県文化会館の整備(イメージ) |

奈良公園の風情に調和した**宿泊施設の整備を促進します。**

- | | |
|---|---------------------|
| ○R5年までにホテル運営開始予定の旧奈良監獄ホテルの整備を支援(38百万円)
○吉城園周辺の土塀の修繕、遊歩道整備等を行い、名勝の価値を向上(275百万円) | 奈良公園のさらなる魅力向上に努めます。 |
| 奈良公園の水環境を改善します。
○猿沢池・鷺池:流入水量増加により水質を改善(117百万円) | 奈良公園の水環境を改善(イメージ) |

奈良公園周辺の**交通環境改善**に努めます。

- | | |
|--|--|
| ○差別館の整備、移動円滑化の社会実験(320百万円)
○植栽整備、春日山原始林の保全(181百万円、R3・2月補正12百万円)
○奈良のシガの保護・管理 | 奈良公園周辺の交通環境改善(イメージ) |
| 魅力的なイベントにより四季を通じて楽しみ、観光客・地域住民双方が満足する奈良公園を目指します。
○奈良公園にむくイベント
○奈良公園バスターミナルイベント(8百万円) | 魅力的なイベントにより四季を通じて楽しみ、観光客・地域住民双方が満足する奈良公園を目指します(イメージ) |

令和4年度予算案 1,667百万円
令和3年度2月補正予算案 12百万円

R4予算案 1,666,601千円、R3・2月補正予算案 12,050千円

1. エリアの魅力向上に資する環境整備 (925,870千円 R3・2月補正予算案 12,050千円)

①吉城園周辺地区 (275,000千円)

事業者(森トラスト):**宿泊施設等の整備**
県:土塀修景整備、吉城園主棟等の耐震改修、遊歩道整備等



宿泊施設の整備イメージ

②旧奈良監獄 (33,310千円)

○奈良市による**アクセス道路整備**への支援
 ○SPCによる**耐震改修**への支援
 ○奈良市と連携し**ゲートウェイ**となる**沿道を整備**
 ○**ホテル整備**に対する支援 (R5予算計上予定)
国の「総合特区支援利子補給金制度」に上乗せして利子補給を実施



旧奈良監獄ホテルのイメージ (法務省より提供)

③奈良公園・猿沢池のアメニティ向上 (617,560千円 R3・2月補正予算案 12,050千円)

- 鹿苑の整備 R4:**シェルター南棟建築工事等・中央造成工事**
- 奈良公園内の**移動円滑化の社会実験**
R4:**実用化に向けた採算性の分析等**
- 猿沢池周辺地区の水環境の改善**
R4:**猿沢池の流入量増加による水質改善**
鷺池の浚渫等による水質改善
- 春日山原始林の**保全、植栽の整備**
- 奈良公園バスターミナル**周辺の遊歩道整備**等



鹿苑の整備イメージ

2. 交通改善・ぐるっとバス運営 (572,920千円)

④奈良公園バスターミナルの運営 (345,620千円)

- 奈良公園バスターミナルの**交通運営・施設運営**
- 高畑駐車場、大仏殿前駐車場、登大路駐車場、**奈良めぐり平城宮跡前駐車場の運営(R3.10~)**
- 賑わい創出イベントの開催、**レクチャーホール等の利用促進**



奈良めぐり平城宮跡前駐車場

⑤ぐるっとバス・パークアンドバスライドの運営 (227,300千円)

- 奈良中心市街地の観光地等を巡る「ぐるっとバス」の**運行**
- パークアンドバスライド等の実施**

3. 文化ゾーンの魅力向上 (167,811千円)

⑥文化会館の整備 (149,740千円)

- 耐震改修 **小ホール新築等**
全面リニューアル
・**基本・実施設計業務**
R3. 9~R4. 11
- ・**工事** R5~8
- ・**リニューアルオープン** R8



奈良県文化会館の整備イメージ

⑦奈良公園内における文化の展示力向上(18,071千円)

- 差別館を活用した**展示内容や運営方針を検討**
- WEB等を活用して、**文化施設の企画告知や奈良公園内の文化解説を充実**

<問い合わせ先>

- ①②③④ 地域デザイン推進局 奈良公園室 丸山室長補佐(内線4334)
- ② 産業・観光・雇用振興部 企業立地推進課 吉田課長補佐(内線3585) (ホテル整備に対する支援に関すること)
- ⑤ 県土マネジメント部 道路建設課 松田主幹(内線4141)
- ⑥⑦ 文化・教育・くらし創造部 文化振興課 中村課長補佐(内線2152)

II 賑わう「都」をつくる 4 魅力ある観光地づくり (13) 大宮通り・近鉄奈良駅周辺の景観・環境整備

R4予算案 98,000千円

ここまで良くなりました

大宮通りの景観改善に努めてきた結果、花壇やイルミネーションが整備され、おもてなし空間の創出につながりました。これらの情報や県の取組などを周辺住民のご理解を得てさらなる充実を図るため、**大宮通りジャーナル**を発行しました。



○大宮通りで地域の皆様や沿道企業の方々が花壇の植付やゴミ掃除のボランティア活動をしていただいております。とても感謝しています。

観光地奈良公園の玄関口にもかかわらず、不便で雰囲気が悪いなどとの評判を改善するため、**交通事業者や地元商店街、自治会等との勉強会**を重ね、近鉄奈良駅前広場整備に向けて、広場の基本計画をまとめました。



○近鉄奈良駅前広場の透明の屋根の整備、バスロケの整備、ぐるっとバス停の設置、県ポスター掲示を美術館ポスターに入れ替え等を進めるとともに、景観・環境整備の進め方について検討してきました。

もっと良くするために

大宮通りの**景観・環境整備**を引き続き進めます。(63百万円)

街路樹イルミネーションや旧知事公舎、西方寺の白壁ライトアップ等、光量増量を回り、より一層大宮通りを明るく彩ります。



JR高架橋の歓迎文字「ようこそ奈良へ」を目立たせる工夫をします。

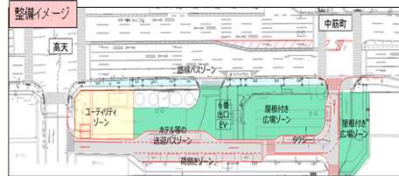


花壇の植付やゴミ掃除など、地域の皆様にご協力いただける大宮通りを目指して、景観・環境整備を進めます。



近鉄奈良駅前の**景観・環境整備**を地元商店街・地元自治会の人々と協力して、引き続き進めます。(35百万円)

- 駅前になさわしい空間整備のための広場の基本設計・建物の基本計画を実施
- 交通事業者や地元商店街、自治会等との勉強会を開催
- ・有識者を講師に招き、目指すべき近鉄奈良駅周辺の空間設計を推進



勉強会の様子

令和4年度予算案 98百万円

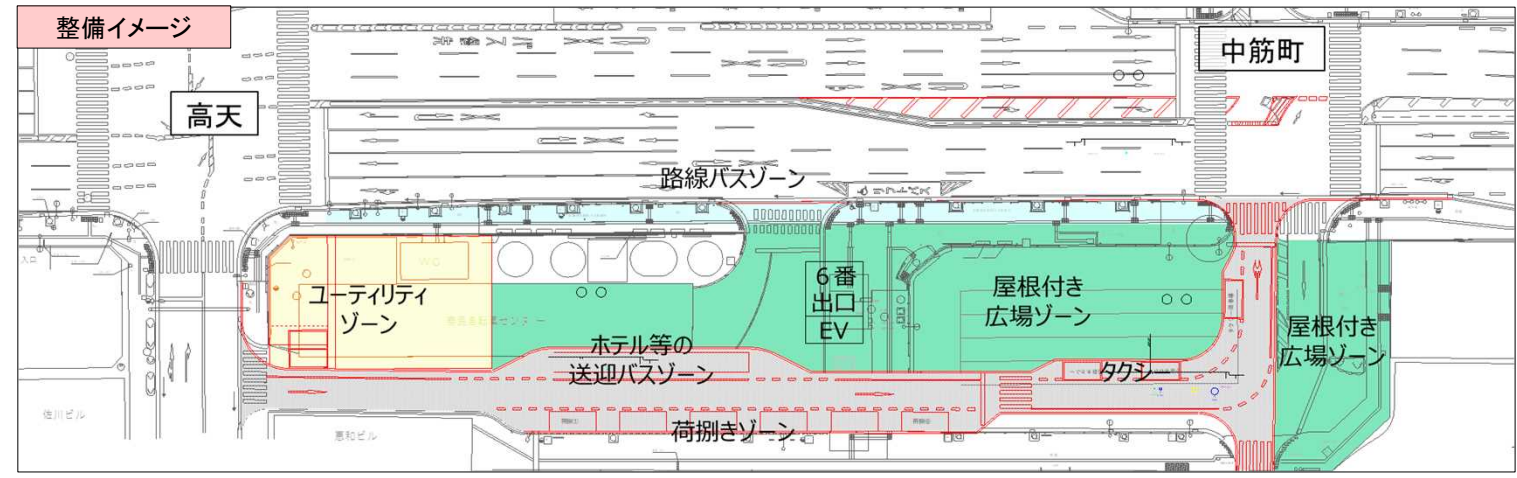
1. 奈良の玄関口である大宮通りの景観整備 (63,000千円)

① **植栽や花壇整備等**により、花と緑で来訪者をもてなす道路空間を創出するとともに、**街路樹等にイルミネーション**を設置

主な取組	1 イルミネーションの充実	2 歓迎文字の工夫	3 地域の方々と協働
(西方寺の白壁のライトアップ)	(街路樹イルミネーションの光量増量)	(旧知事公舎の築地塀のライトアップ)	(協働作業の様子)

2. 近鉄奈良駅周辺の環境整備 (35,000千円)

- ② 駅前にふさわしい空間整備のための**広場の基本設計の実施・建物の基本計画**の策定
- ③ 交通事業者や地元商店街、自治会等との**勉強会**を開催
 - ・有識者を講師に招き、目指すべき近鉄奈良駅周辺の環境や空間設計の検討



<問い合わせ先> ① 県土マネジメント部 道路保全課 辻井主幹(内線4152)
②③ 地域デザイン推進局 奈良公園室 丸山室長補佐(内線4334)

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 4 魅力ある観光地づくり (14) 平城宮跡歴史公園の整備

ここまで良くなりました

西側に続いて、東側や南門の整備を進めてきました。宮跡南側においても朱雀門ひろばと一体感のある公園整備を進めています。

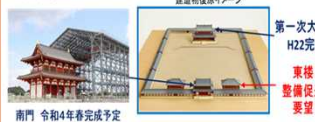
- 第一次大極殿南門
H29年度から国が工事着手し、R4年春の完成に向け、整備を推進
- 朱雀大路東側
「歴史体験学習館」の整備を推進。R2年12月に整備計画を策定し、体験・交流内容等のコンテンツや整備施設に関する基本計画を検討
- 宮跡南側整備
R2年度に新規事業化。R2年12月に積水化学工業(株)から用地を取得し、基本計画を策定。R4年度の整備計画策定に向け、整備方針や導入機能について検討。R3年10月に一部を仮設駐車場として供用開始



もっと良くするために

南門は令和4年春に完成します。

- 引き続き「東棟」の整備促進を国に要望していきます。



南側は朱雀門ひろばと一体となった公園の整備を行います。

- 歴史公園の正面玄関として、平城京のスケールを感じられる空間や休憩施設、便益施設等を整備します。(152百万円) [債務負担行為25百万円]

一層のにぎわいと誘客促進に向けて、魅力ある催しを実施します。

- 季節ごとに魅力あるイベントを開催します。(天平祭春・夏・秋) (135百万円)
- R4年春には、第33回全国「みどりの愛護」のつどいの開催を予定しています。(53百万円)



令和4年度予算案 713百万円
[債務負担行為34百万円]

R4予算案 712,769千円 [債務負担行為 34,200千円]

1. 朱雀大路東側の整備

(372,598千円、R5債務負担行為 9,500千円)

“奈良時代を今に感じる”歴史文化体験と交流の舞台となる「歴史体験学習館」の整備を推進

① 歴史体験学習館整備に向けた基本設計等の実施

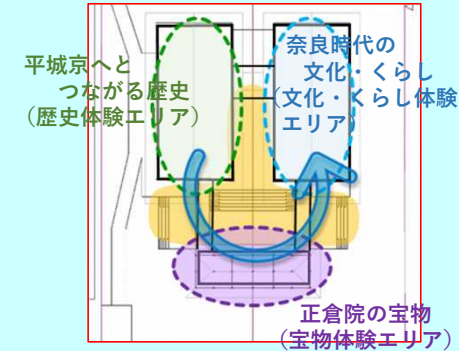
- ・コンテンツ基本設計
- ・遺産影響評価(HIA)の実施
- ・歴史体験学習館整備検討委員会の運営等

② 用地関係

- ・用地取得、文化財発掘調査
- ・事業用地の維持管理

スケジュール

R4	基本設計、遺産影響評価の実施 用地取得、文化財発掘調査
R5	詳細設計、遺産影響評価の実施 用地取得、文化財発掘調査
R6 ~7	建築工事、展示工事



2. 平城宮跡南側の整備

(152,273千円、R5債務負担行為 24,700千円)

平城京のスケールを感じながら、憩いくつろげる快適空間を整備

① 公園整備計画の策定等

- ・整備検討委員会の運営、計画策定

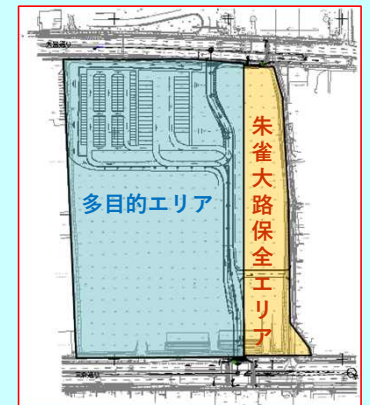
② 諸整備等の推進

- ・工事(一次造成、交差点部)
- ・文化財発掘調査
- ・施設設計
- ・民間活力の導入に向けた検討

③ 事業用地の維持管理

スケジュール

R4	公園整備計画の策定、 施設設計、一次造成工事、 文化財発掘調査
R5	施設設計、造成工事
R6~	造成施設工事、便益施設工事



3. 平城宮跡におけるにぎわい創出

(187,898千円)

一層のにぎわいと誘客促進に向けて、季節ごとに魅力ある催しを展開

- ・平城京天平祭(春) 天平行列、こども行列 ほか
- ・天平たなばた祭り(夏) 光と灯りの演出、七夕行列 ほか
- ・みつきうまし祭り(秋) 古代行事の再現、花の展示 ほか
- ・第33回全国「みどりの愛護」のつどい (R4春予定)



天平祭・夏



天平祭・秋

<問い合わせ先>

地域デザイン推進局 平城宮跡事業推進室 出井主幹(内線2691)

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 4 魅力ある観光地づくり (15) 中町「道の駅」の整備

ここまで良くなりました

建築物の基本・実施設計を進めるとともに、令和4年1月に造成工事に着手しました。



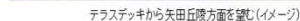
もっと良くするために

令和5年度のオープンに向けて整備を進めます。

OR4年度から建築工事に着手

○直売所、レストラン、カフェ等の管理運営を行う指定管理者を選定し、道の駅を中心とした地域の賑わいづくりを推進

○道の駅内のバスターミナルへの路線バスや空港バス等の乗り入れ実現に向け、引き続き交通事業者と協議を実施



令和4年度予算案 690百万円 [債務負担行為 2,100百万円]
令和3年度2月補正予算案 42百万円

R4予算案 689,850千円 [債務負担行為 2,100,000千円]、R3・2月補正予算案 42,000千円

「公共交通の結節機能」、「地域観光のゲートウェイ機能」、「地元農産物の直売所などの地域振興機能」、「防災機能」を備えた施設として、中町「道の駅」を整備

令和4年度の取組

- ・令和5年度供用開始に向け、中町「道の駅」の造成工事及びレストランやカフェ、直売所等の建築工事に着手
- ・施設の運営管理を担う指定管理者の決定

スケジュール

R4 造成工事、建築工事
指定管理者選定・協定締結

R5 建築工事・開業準備
⇒R5年度内オープン



中町「道の駅」のレイアウト

【完成イメージ】



バスターミナル方面から道の駅を望む



一般駐車場から西側の眺望を望む

<問い合わせ先>

県土マネジメント部 道路建設課 松田主幹(内線4141)

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 4 魅力ある観光地づくり (16) 自転車の周遊環境整備と安全利用

ここまで良くなりました

令和3年4月に京奈和自転車道(京都嵐山～奈良～和歌山港 総延長約180km)が繋がりました。



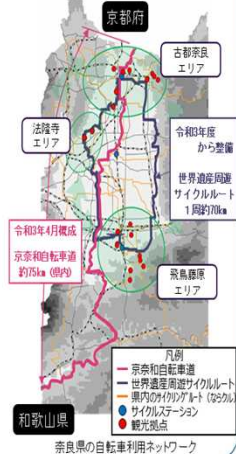
世界遺産周遊サイクルルートの整備に着手しました。

OR3年度から、案内誘導サイン等の設計を実施

自転車の安全で適正な利用促進等を推進しました。

○駅頭啓発でのチラシ配布、SNSによる呼びかけ、YouTube配信等様々な啓発活動を実施

○「自転車の安全利用促進フォーラム2021」を開催、自転車の安全利用等をテーマとしたパネルディスカッション等を実施



もっと良くするために

自転車利用ネットワークの構築と環境整備を図ります。
(302百万円 [債務負担行為 40百万円]、R3・2月補正予算 5百万円)

○世界遺産周遊サイクルルートのうち、古都奈良エリア、法隆寺エリア、飛鳥藤原エリアの各エリア内に、案内誘導サイン等の設置を推進



路面標示等の対策を追加(予定)

引き続き、奈良県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例を推進します。(1百万円)

○保険加入義務や高齢者のヘルメット着用必要性等について広報啓発を行うとともに、自転車安全教室等を通じて交通安全教育を実施

令和4年度予算案 303百万円 [債務負担行為 40百万円]
令和3年度2月補正予算案 5百万円



奈良県自転車条例啓発チラシ

R4予算案 303,199千円 [債務負担行為 40,000千円]、R3・2月補正予算案 5,200千円

「奈良県自転車活用推進計画(令和2年3月策定)」に基づき、県内に点在する観光拠点との周遊を促進

① 自転車利用ネットワークの構築等
(302,450千円、R5債務負担行為 40,000千円、R3・2月補正予算案 5,200千円)

- ・「世界遺産周遊サイクルルート」の設計・整備
- ・京都、奈良、和歌山を結ぶ「京奈和自転車道」等の走行環境の改善
- ・自転車通行空間の整備
- ・HPやSNSを活用し、サイクルルートの魅力を発信
- ・休憩所や駐車場、宿泊施設等との官民連携の推進



京奈和自転車道



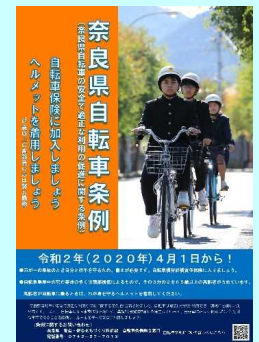
サイクルフォトシェア公式HP

② 自転車条例の周知・普及を図り、自転車の安全で適正な利用促進等を推進 (749千円)

- ・自転車条例の普及と定着に向けて、継続した広報啓発、SNSによる情報発信、交通安全教育を実施



奈良県の自転車利用ネットワークの状況



奈良県自転車条例啓発ポスター

<問い合わせ先> ① 県土マネジメント部 道路建設課 松田主幹(内線4141)
② 知事公室 安全・安心まちづくり推進課 徳丸課長補佐(内線2128)

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 5 魅力向上・発信 (17) 食の振興

ここまで良くなりました

食の振興の更なる高度化に向けて取組を始めました。

- ガストロノミーツーリズムの推進
・国際シンポジウム2022(R4.1)開催
- 奈良県農畜水産物ブランドの売り込み



第8回世界フォーラム(ベルギー・ブルージュ)
© World Tourism Organization(UNWTO)

各地で食の振興に取り組んでいます。

- 奈良のおいしい食の魅力の創造と発信
(県内のオーベルジュ12店舗を紹介)
- 奈良フードフェスティバルの開催
- 食と農の賑わい創出(食と農の体験を実施)
- NAFICにおいて「食の担い手」と「農の担い手」を育成



ポータルサイトの制作 子ども体験教室

県産加工品について、奈良まほろば館でテストマーケティングを行っています。

- 奈良まほろば館や奈良のうまいものプラザで県産食材や農産加工品の販売や情報発信
- 奈良県初のワイナリーの設置に向けた支援



厳選された奈良の商品が並ぶショップ

もっと良くするために

奈良の食のブランド力をさらに進化させます。

- 農畜水産物ブランド認証の推進(2百万円)
・奈良県プレミアムセレクトを、奈良のうまいものプラザや東京の老舗果物専門店等でPR
- 奈良まほろば館での県産食材や農産加工品等の情報発信(25百万円)
・ショップやレストラン「TOKI」で県産食材等の魅力を発信し、ブランド力を構築



県産食材を味わえるレストラン「TOKI」

奈良の食を楽しむ機会の更なる拡大を進めます。

- (新)おいしい県産食材の活用促進(8百万円)
- (新)県内飲食店の魅力発信(38百万円)
・「ミシュランガイド奈良2022特別版」の活用
- 県内オーベルジュの食の魅力発信(4百万円)
- 大規模な食イベント(奈良フードフェスティバルの継続支援等)による地域活性化(8百万円)
- NAFICとBCC※(バスカリナーセンター)との連携協定締結(8百万円)
- UNWTO世界フォーラム開催を契機として、ガストロノミーツーリズムを県内外に浸透させる取組を展開(203百万円)
- (新)食と農の魅力発信や地域活動の支援(10百万円)
- NAFIC附属セミナーハウスやなら歴史芸術文化村での食と農の魅力発信
- 奈良県初のワイナリーの設置に向けた支援(R4年夏以降より醸造予定)

令和4年度予算案 306百万円

R4予算案 305,977千円

1. 奈良の食のブランド力の強化 (26,133千円)

(1)奈良県農畜水産物ブランド認証の推進 (1,614千円)

- ① 奈良県プレミアムセレクト(イチゴ、柿、梨)を、東京の老舗果物専門店等でPR
- ② 県アンテナショップでプレミアム古都華を使ったスイーツを販売、SNSを活用した情報発信



東京・まほろば館でのPR

(2)奈良まほろば館での県産食材のブランド力発信 (24,519千円)

- ③ ショップやレストラン「TOKI」を活用した食のブランド力発信イベント等の開催

2. 奈良の食を楽しむ機会の拡大 (279,844千円)

(1)県内飲食店の魅力発信 (38,500千円)

- ④ (新)「ミシュランガイド奈良2022特別版」の活用

(2)奈良のおいしい食の魅力創造・発信 (15,064千円)

- ⑤ 県内オーベルジュでのファミトリップ、ジャーナルの発行
- ⑥ 奈良のおいしい「食」の魅力を発信するイベントの開催
- ⑦ (新)おいしい県産食材の活用促進



「食」イベントの開催

(3)奈良フードフェスティバルの開催 (4,500千円)

- ⑧ 県産食材を活用する奈良フードフェスティバルの開催を支援



BCCから講師を招へい



オーベルジュでのファミトリップ

(4)NAFICとBCCとの連携を推進 (7,770千円)

- ⑨ 世界的に著名なスペインの料理専門大学(BCC)との連携協定締結
- ⑩ BCCから講師を招へいし、特別講義等を実施

(5)ガストロノミーツーリズムの推進(世界フォーラムの開催) (203,510千円)

- ⑪ コンベンションセンターを主会場としてUNWTO世界フォーラムを開催
- ⑫ 世界フォーラムを契機とし、ガストロノミーツーリズムを県内外に浸透させる取組を展開



UNWTO世界フォーラム
©World Tourism Organization(UNWTO)

(6)食と農の魅力発信・地域活動の支援 (10,500千円)

- ⑬ (新)NAFIC附属セミナーハウスやなら歴史芸術文化村で食と農の魅力を発信

<問い合わせ先>

- 食と農の振興部 ①②農業水産振興課 平主幹(内線3841)
 ④~⑧、⑬豊かな食と農の振興課 吉田参事(内線3811)、⑨⑩福永課長補佐(内線3818)
 観光局 ③観光プロモーション課 辻課長補佐(内線2581)
 ⑪⑫MICE推進室 田中室長補佐(内線2595)

Ⅱ 賑わう「都」をつくる 5 魅力向上・発信 (18) 海外・東京プロモーションの展開

ここまで良くなってきました

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、県内や周辺エリアから段階的に観光誘客を展開しています。また、海外に対して奈良の魅力を継続的に発信しています。

首都圏における奈良県の魅力発信と誘客促進をより一層強化するため、「奈良まほろば館」を令和3年8月に東京都港区新橋に移転しました。

○交通事業者と連携したプロモーションを展開し、近隣エリアからの誘客を図りました。



奈良まほろば館

正面エントランス

1階ショップ

もっと良くするために

民間交通事業者等との連携により、首都圏や県内を中心に積極的な広報・宣伝を展開します。また海外に対しては、ポストコロナを見据え、奈良の魅力を積極的に発信します。

「奈良まほろば館」を活用して、観光・食・特産品等の魅力の浸透や、県の認知度及びブランド力の向上に向け、首都圏での情報発信を強化します。

○「飛鳥・藤原」世界遺産登録に関連する歴史的催事やガストロノミー・ツーリズムを契機としたプロモーション(183百万円)
・鉄道駅等を活用した広域広報
・ツーリズムエキスポ等旅行博でのPR
・周遊キャンペーン等

○ショップでの奈良の特産品の販売や、レストランでの「おいしい奈良の食」の提供の充実等による魅力発信や誘客促進を強化(188百万円)

・歴史伝統や生産者の思いを感じられる物産、農産物等のPRと県産食材を活用した食を提供

・県内事業者の商品のチャレンジ販売等により、埋もれた商品を発掘し、売れる商品づくりを支援

○奥大和の魅力発信(20百万円)
・駅構内でのイベント開催
・魅力発信ポスターの駅掲出
・奥大和地域への旅行商品の造成



奥大和地域への誘客プロモーション

○中国・欧米豪市場のメディア・旅行会社等に対する「知られざる奈良の魅力」の情報発信(10百万円)

・SNSを活用した継続的な情報発信
・メディア現地視察・ファムトリップ等

○ポストコロナを見据えた海外誘客プロモーションの強化(10百万円)



チャレンジ販売(まほろばチャレンジリーグ)

令和4年度予算案 411百万円

R4予算案 410,720千円

1. 観光誘客の強化、周遊・滞在型観光の推進 (20,188千円)

○ポストコロナ時代に対応した誘客プロモーションによる外国人旅行者の取込強化

- ・SNSを活用した継続的な情報発信
- ・海外旅行会社やメディアへのセールス、デジタルを活用した情報発信
- ・訪日教育旅行誘致コーディネーターとの連携
- ・コンテンツの掘り起こしやファムトリップの実施
- ・知事によるトップセールス



2. 奈良の多様な魅力の発信 (182,500千円)

○「壬申の乱1350年」や、ガストロノミー・ツーリズムを核に、交通事業者と連携し、首都圏を中心に県内や周辺エリアに向けた広域的な広報活動を展開

- ・鉄道駅等を活用した広報
- ・JR東海やJR西日本のキャンペーンとの連携
- ・ツーリズムエキスポ等の旅行博でのPR
- ・壬申の乱1350年を活用した周遊プロモーション
- ・首都圏や県内のレストランと連携した奈良の食と観光の魅力発信
- ・メディアやSNS等を活用したガストロノミー・ツーリズムのPR



令和3年度「聖徳太子没後1400年」観光キャンペーン

3. 「奈良まほろば館」での奈良の魅力発信 (188,032千円)

- ①旬の情報や社寺等と連携した講演会・セミナーの開催
- ②食や特産品等の魅力を伝える販売会等の実施
- ③ **新**開館一周年記念プロモーション・イベントの開催
- ④大型ビジョンにより、奈良の奥深い魅力を迫力ある映像で発信



【正面エントランス】

4. 鉄道事業者と連携した奥大和の魅力発信 (20,000千円)

○鉄道事業者と連携して、奥大和地域の魅力を発信する宿泊旅行商品を造成・PR

- 連携先 近畿日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)
- 内容
- ・駅構内でのイベント開催
 - ・魅力発信ポスターの駅掲出
 - ・奥大和地域への旅行商品の造成



<問い合わせ先>

①～③ 観光局 観光プロモーション課 辻課長補佐(内線2581)

④ 知事公室 奥大和・移住交流推進室 桐山室長補佐(0744-48-3016)